

先週の説教要旨

「狭い戸口から入れ」井上隆晶牧師
使徒 20 : 18~24、ルカ 13 : 22~30

①【狭い戸口から入る】イエス様は教えながら、エルサレムへ向かって進んでおられました。ある人が「主よ、救われる者は少ないのでしょうか」(ルカ 13 章 23 節)と尋ねました。イエス様は「狭い戸口から入るように努めなさい。言うておくが、入ろうとしても入れない人が多いのだ。」(同 13 章 24 節)と答えられました。「エルサレムへ向かって進む」とは、十字架に向かって進むということです。十字架とは苦しむ、恥をかく、負ける、損をする、自分を捨てる、願望を手放すことです。一方弟子たちや群衆は、まさか自分たちが死に向かっているとは思ってもいません。エルサレムには楽しみが、栄光が、勝利が、得することが、手に入れることが、願いがかなうことが待っていると思っています。このイエス様の歩みと、弟子たちの歩みは真逆であり、天と地の隔たりがあります。

「狭い戸口から入る」とはどういう意味でしょう。マタイ福音書では「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」(マタイ 7 章 13~14 節)と書かれています。狭い戸口も狭い門も同じ意味です。その狭い門とは、天国へ入る門のことです。狭い門を通るには、身を低くしなければなりません。それは自分の罪を認める謙虚な姿勢を意味しています。また細い道は一人しか通れません。人は一人で神の前に立つのです。不幸を周りの人のせいにして仲間と一緒にに他人の悪口を言っている内に、人生は終わります。あなたは自分の罪を見つ

め、神に祈らなければなりません。それはまた孤独な道です。他人がしているから自分もするのではなく、誰もしなくてもキリストが「せよ！」と言われたら行うのです。皆がしていても、キリストが「するな！」と言われたらしないのです。横(人)を見るのではなく、上なるキリストを見て生きるのです。この天国の門はキリストの形をしているので、それに合わせなければ天国に入ることはできません。狭い戸口とは実に、キリストのことなのです。だから自分にキリストを合わせるのではなく、キリストの生き方に自分を合わせなければなりません。

②【お前たちがどこの者か知らない】天国の門はやがて閉じられる時が来ます。外に立って戸を叩き「ご主人様、開けて下さい。一緒に食べたり飲んだりしましたし、教えも受けたのです」と言っても「お前たちがどこの者か知らない」(ルカ 13 章 27 節)と言われて天国に入れてもらえないのです。この天国に入れない人とは、イエス様を「ご主人様」と呼び、共に食事をし、その教えも聞いていますから、キリスト信者であることが分かります。これと同じ言葉を言われた人たちがいます。「主よ、主よ、私たちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をいろいろ行ったではありませんか。」(マタイ 7 : 22)と言いましたが、キリストは「あなたたちのことは全然知らない。」(マタイ 7 : 23)と言われました。いくらイエス様の名前を用いて偉大な業や奇跡を行ったとしても、神の御心を聞かず、自分勝手に行なったからです。言い換えれば彼らはキリストを主人とせず、自分を主人としたのです。熱心であるかどうかは関係ありません。人は自分が欲しいものを手に入れるためには熱心になるものだからです。ノ

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

E メールアドレス : 3533osgm@jcom.zaq.ne.jp

ホームページアドレス : <https://miyako-jima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上隆晶

2026年10月18日 No.1895



《天と地の創造》

都島教会の 2026 年度の宣教方針

標語 《主キリストの忠実な僕になろう》

聖句 「目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。」(マタイ 24 : 42)

2026 年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 28 名を目指します。
- 2 時をよく用いて、出会った人を礼拝にお誘いします。
- 3 み言葉を聞くだけでなく、行います。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。